

若手の育成や後継者確保へ 業界の将来を見据えた取り組みを



東京都塗装工業協同組合
理事長 鈴木 芳昭

令和 8 年謹んで新春のお慶びを申し上げます

平素は東京都塗装工業協同組合の事業に際し、格別のご高配を賜り心より御礼申し上げます。

本年も変わらぬご支援とご厚誼の程宜しくお願ひ申し上げます。

昨年を振り返りますと、大阪万博が開催され来場者数は 2,900 万人に達し、大盛況のうちに半年間の会期を終えました。

また我が国初となる女性総理大臣が誕生し、新たな政治の幕開けとして大きな注目を集めました。

一方、全国各地で山林火災が発生し、なかでも岩手県大船渡の火災では焼失面積が 2,900ha に及び、平成以降で最大級の火災となりました。さらに 11 月には大分市での火災で 170 棟以上が消失し、犠牲者も出る大規模火災が起こりました。強風や木造住宅の密集、狭隘な道路による消防車の侵入困難など、複合的要因により初期消火が遅れたとされています。その後、香港でも高層マンション火災が発生し、映像で見る限り目を疑う光景で、多数の犠牲者、行方不明者が出てしました。火災は一瞬にして人命や財産を奪うものであり、日頃の火の取り扱い、さらには電気系統のほこり等に起因する火災にも十分な注意が必要あります。

また集中豪雨による洪水被害も増加しており、9 月には三重県で地下駐車場の車 274 台が浸水する被害が発生しました。海外でも東南アジアで記録的な豪雨により、大規模な洪水、土砂災害が起こっています。

昨年の夏も記録的な暑さとなり、一昨年に続き農作物不作が続いたことで野菜価格が高騰し、物価上昇と相まって家庭への負担が一層大きくなりました。

加えて、昨年春から熊による人的被害のニュースが後を絶たず、冬眠を控えた 10 月頃には熊の市街地への出没が急増、人的被害、農作物被害が深刻化して熊の出没や被害件数は過去最悪のレベルとなりました。

こうした事象の背景には、地球温暖化の影響があることは言うまでもありません。先進各国が対策を怠れば、悪影響はさらに拡大することは確実です。私たちの孫の世代が、平和で住みよい環境のもと暮らせるよう、心より祈念します。

2025 年は、建設業界全体が慢性的な人手不足や資材価格の変動など、依然として厳しい環境下にありました。そのような状況下においても、組合員の皆さまが高い技術と誠実な施工で地域社会の信頼に応え続けてこられたことに、改めて敬意を表します。

当組合が運営しております東京都塗装高等技術専門校では、昨年 53 期生として 25 名が入校されました。近年は 20 名を下回る年度も続いたため、関係各位のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。今後も皆様方のお力添えを宜しくお願ひいたします。

またこれまで毎年 11 月 16 日（いいいろ塗装の日）に一般社団法人日本塗装工業会東京支部と合同で開催して参りました「お菓子なまちのペンキ屋さん」は、一昨年第 10 回をもちまして一旦終了といたしました。10 年にわたりご協力頂きました方々に深く感謝申し上げます。

現在、若手の育成や後継者確保、業界の将来を見据えた取り組みとして、新事業の検討を進めております。

また技術、技能の向上にも引き続き積極的に取り組んで参りますので、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が皆様方にとりまして幸多く健やかな年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。